



人気作家吉田修一さんの最高傑作と呼び声の高い小説を庄巻の映像美で実写化した映画「国宝」が6日から公開されます。

この世ならざる美しい顔をもつ喜久雄（吉沢亮さん）は、任侠の一門に生まれ、抗争によって父を亡くした後、上方歌舞伎の名門の当主・花井半二郎（渡辺謙さん）に引き取られます。そこで待っていたのは、半二郎の息子で生まれながらに将来を約束された

■ びわ湖大津館（大津市）

映画「国宝」ロケ地に採用

滋賀ロケーションオフィスが作った滋賀ロケ地マップ



映画「国宝」のメインビジュアル©吉田修一／朝日新聞出版 ©2025映画「国宝」製作委員会

滋賀ロケーションオフィスが作った滋賀ロケ地マップ。県内の観光協会や道の駅などで配布します。映画の撮影の様子やびわ湖大津館併設でバラ園が見頃のイングリッドシュガーデンなどをたっぷり紹介しています。

御曹司・俊介（横浜流星さん）との出会い。正反対の血筋を受け継ぎ、生い立ちも才能も異なる2人は、ライバルとして互いに高め合いますが、多くの出会いと別れが、運命の歯車を大きく狂わせてゆきます。若の道に人生をささげた主人公の50年を描いた壮大な一代記です。

メガホンをとるのは、「フラガール」（2006年）、「悪人」（10年）、「怒り」（16年）など、数々の傑作を手がけてきた李相日監督。キャストにも、大河ドラマの主役を務めた3人をはじめ日本を代表する超豪華な俳優陣が並びます。

も知られるびわ湖大津館ですが、設計を手がけたのは、東京・銀座の歌舞伎座を設計した岡田建築事務所。外観が歌舞伎座の雰囲気に近いこともありロケ地に採用されました。作品では、歌舞伎劇場「日乃本座」の外観として、またロビー・稽古のシーンで登場します。

日本映画の歴史に刻まれる、美しく熱い、圧倒的傑作です。先月開催されたカンヌ国際映画祭では、「監督週間」部門に選出され、公開上映後は約6分間のスタンディングオベーションが湧き起こるなど絶賛を受けました。ぜひ、劇場でご覧いただくとともに撮影の息づかいを体感できるロケ地にもお出かけください！（滋賀ロケーションオフィス・有田高志）



これまでの「しが旅のススメ」はこちらから

【アクセス情報】びわ湖大津館へは京阪電車びわ湖浜大津駅、JR大津駅から江若バス（堅田行き）「柳ヶ崎」下車、徒歩約3分。またはJR大津駅、京阪電車近江神宮前駅から徒歩約20分。車は名神高速道路大津インターチェンジ（IC）から約15分。